

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成24年9月期

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行を目指します。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで、広く信頼される銀行を目指します。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

ココロがある。Contents

トップメッセージ	1
中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」	2
企業まるごとサポート	4
人生まるごとサポート	6
CSR～地域との共栄～	12

お客さまの声にお応えするため

取締役頭取 久保田 勇夫



経済環境について

今期のわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要や各種政策効果などにより、緩やかな回復の動きが見られましたが、欧州の財政問題などに起因する世界経済の減速などを背景に、足下は回復の動きに足踏みが見られる状況にあります。

当行の地元、九州の経済につきましても、世界経済の情勢や為替相場の動向の影響を受け、持ち直しのテンポは緩やかになっています。

総合金融サービスの提供

このような環境のなか、当行は、グループ一体となり、専門性の高いサービスの提供とお客さまの利便性の向上に努めてまいりました。

個人のお客さまとのお取引につきましては、全国で16,000台以上のATMを擁するセブン銀行と提携し、コンビニATMチャネル網の充実を図りました。また、お客さまのライフプランにに応じて、専門スタッフが多数の保険会社の商品の中から最適な商品をご提案する窓口として「NCBほけんプラザ・小倉南」、「NCBほけんプラザ・春日」を新たに開設いたしました。これにより、休日にも営業する「NCBほけんプラザ」は5拠点となりました。加えて、土日もローンのご相談をお受けする「ローン西新営業室」、「NCBローンプラザ・原」を開設したことにより、当行の土日営業チャネルは36拠点に拡大いたしました。

法人・個人事業者のお客さまとのお取引につきましては、お客さまの海外ビジネスをサポートするため、「国際コンサル室」を当行グループ会社(株)NCBリサーチ&コンサルティングに開設しました。また、お客さまへのコンサルティング機能の拡充の「環として、地元大学の研究シーズ(研究成果・知的財産)とお客さまのビジネスニーズとのマッチング機会を提供し、産学連携を支援する試みとして「第二回シーズ発表会」を開催いたしました。その他にも、「医療・介護」「環境」「農業」などの成長分野に参入するお

客さまを支援するため、「医療セミナー・at保健医療経営大学(3rdシリーズ)」や「NCB医業経営セミナーin福岡」などの各種セミナーを開催し、お客さまへのさまざまな情報提供に努めてまいりました。

目指す銀行像の実現へ

当行は、平成26年3月までを計画期間とする中期経営計画「New Stage 2011」(元気よく)を、前期よりスタートさせております。

この計画では、目指す銀行像を「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」とした上で、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対しお客さま目線に立った総合金融サービスを提供すると同時に、徹底したコスト削減に取り組むことにより、経営効率をさらに高めることとしております。

今後とも、「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識のもと、全役職員が元気よくこの計画を実行し、地域経済の発展のために邁進してまいります。

西日本シティ銀行が目指す銀行像

国内トップレベルの

サービスを地元で提供し、

お客さまとともに栄える

九州No.1バンク

「国内トップレベルのサービス」

これまで、国際業務やソリューションといった専門的な分野で、地銀初、九州地銀初の先進的な取組みを行ってきました。今後もこうした取組みを継続し、また、全職員がそれぞれの持ち場で高いレベルを追求して、他の地銀との差別化を図ります。

「地元で提供」

地域の繁栄と当行の繁栄は不可分であるとの認識のもと、地元で、地元の立場に立ってサービスを提供し、メガバンク・外資系金融機関との差別化を図ります。

この2つの差別化戦略により、地域との一体的な成長を通じて「お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現します。

目指す銀行像の実現に向け、
中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」が
平成23年4月からスタート。着実な実行を進めています。

中期経営計画の概要

計画期間:2011年4月～2014年3月

目指す銀行像

国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク

中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」

“時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化”と“徹底した生産性向上”

西日本シティ銀行

地元のお客さま

進むべき方向性

「お客さま第一主義」

サービスの専門性向上

サービスの利便性向上

「収益力の強化」

顧客基盤の拡大

グループ総合力の強化

サービス向上と
経営合理化の両立

「地域貢献」

地元のお取引先の育成

元気で環境豊かな
地域社会づくり

主要施策

6つの改革

経営改革

意識・行動改革

サービス改革

オペレーション改革

人事改革

コスト構造改革

機能強化戦略

- システムの共同化移行
- リスク管理の高度化

グループ戦略

- グループ会社のサービス向上・経営合理化

地域との共栄

- 地場産業育成
- 環境配慮
- 知的貢献
- 歴史・文化活動

注力する分野

コーポレート

- 事業性融資
- ソリューション
- 成長分野／国際分野
- 環境分野／観光分野

リテール

- 個人ローン
- 住宅ローン
- 消費者ローン
- 預り資産

将来の収益基盤づくり

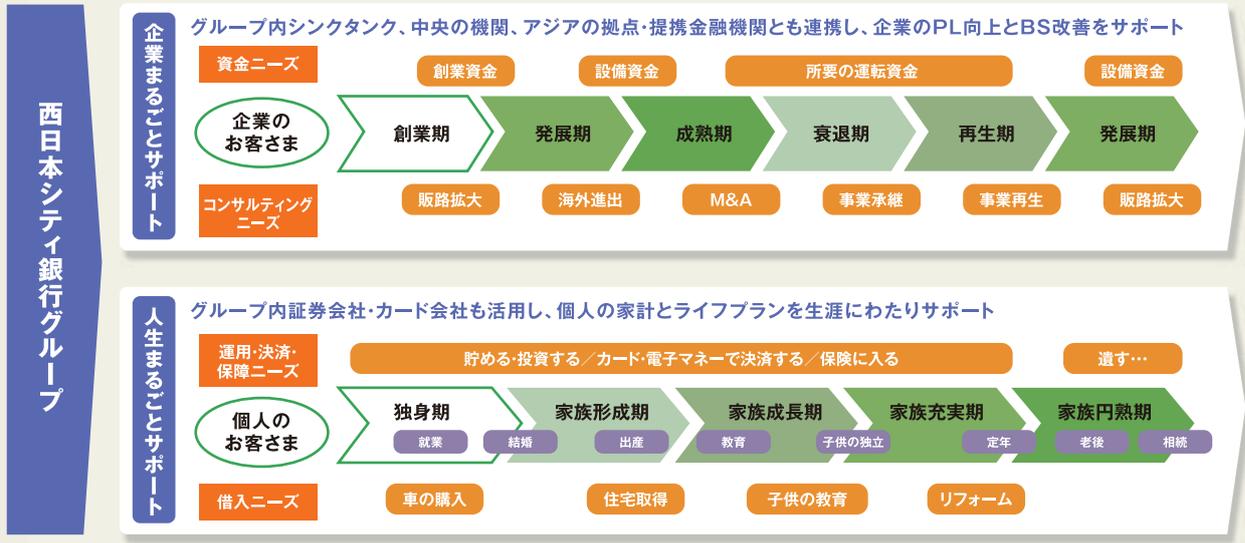
顧客基盤拡大

有価証券運用

計画のコンセプトは、「時代の変化に対応した『総合金融サービス業』への進化」と「徹底した生産性向上」の2つです。

時代の変化に対応した“総合金融サービス業”への進化

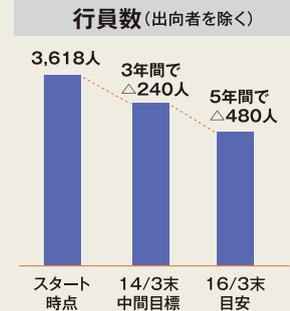
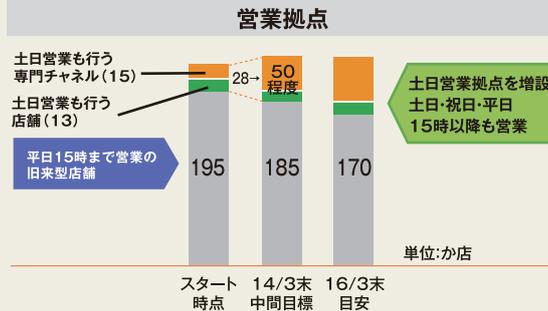
～お客さまのライフステージから生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスを提供～



徹底した生産性向上

～サービス向上と経営合理化の両立により生産性を改善し、強靱な経営基盤を構築～

土日営業拠点を増設しお客さまの利便性を高める一方で、旧来型店舗の統廃合を進め、生産性を向上させます。また、人員の効率化を進め、コスト削減を断行します。



「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識に立ち、金融面以外からも地域の発展に貢献します。

- 地場産業育成**
 - 地元企業の成長分野への新規参入を側面から支援します。
 - 高齢化の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。
 - 積極的な産官学連携を継続し、「学」の優れた技術・ノウハウを地場産業発展に取り込みます。
- 環境配慮**
 - 環境負荷軽減に取り組み企業を支援するとともに、当行自身も環境にやさしい業務運営を実践し、環境に配慮した取組みにおいて地銀トップレベルを目指します。
- 知的貢献**
 - 当行及び各界トップによる質の高い講演会や金融知識の普及活動など、地域社会と次世代を担う青少年等への知的貢献を継続します。
- 歴史・文化活動**
 - 地元根付く歴史・文化活動は地方銀行のインフラの一部と位置づけ、当行の特長である歴史・文化活動への取組みを継続し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

地元企業の発展のために

医療セミナーの開催

中期経営計画「New Stage 2011（元氣よく）」に掲げる「コンサルティング機能の拡充の二環」として、医療・介護経営のバックアップを目的とした『医療経営セミナー』を平成24年4月に福岡、同年7月には北九州で開催いたしました。

今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定の年にあたるため、同セミナーでは、この改定に伴う影響や政府の政策を踏まえた今後の医療経営のあり方に焦点をあてた情報発信を行い、医療機関や介護施設の経営者や運営者を中心として延べ239名にご参加をいただきました。

当行では今後も定期的な情報発信を行っていきたくと考えております。

環境分野への取組み

当行は中期経営計画において、環境分野を注力する分野のひとつに掲げております。平成24年7月には再生可能エネルギー全量買取制度が開始となり、当行は同年8月のメガソーラー案件への支援を皮切りに、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー事業をサポートしています。

今後もお客さまの環境分野に対するさまざまな取組みに対して、積極的な支援を行ってまいります。

ベンチャーファンドへの出資

当行は平成24年9月に設立された「九州アントレプレナークラブ投資事業有限責任組合」（愛称：九州アントレファンド）への出資を決定いたしました。

当ファンドは、優れたアイデアや技術、ノウハウ、ビジョンをもって、新商品の開発、新事業展開もしくは第二創業にチャレンジする中小企業を支援し、九州経済を活性化させることを目的とする地域型ベンチャーファンドです。ファンド総額は11億円程度となる見込で、独立行政法人中小企業基盤整備機構を中心に、当行のほか、九州の地元銀行3行及び地場大手投資会社が出資を行っております。

当行は、本ファンドへの出資を通じて地場産業の育成・発展に努めてまいります。

【有限責任組合員】

当行ほか地域金融機関3行:50%
中小企業基盤整備機構:50%

【無限責任組合員】

地場大手投資会社

出資

出資・運営

九州アントレプレナークラブ投資事業有限責任組合
（愛称：九州アントレファンド）

投資

【投資対象企業】

シード・スタートアップベンチャー
アーリーステージベンチャー、地元中小企業の第二創業

第1回「シーズ発表会」の開催

平成24年6月に、当行の新たな産学連携支援の取組みとして、第1回「シーズ発表会」を開催いたしました。

今回は、社会的にも関心の高いリサイクル・健康の2つをメインテーマとして、この分野に特に造詣の深い4大学（九州大学、福岡大学、中村学園大学、福岡工業大学）・4名の研究者の方々の研究シーズ（※1）をご紹介し、お客さまのビジネスニーズとのマッチングを図る機会を提供いたしました。

当日は、延べ101先と多数の参加があり、継続的に連携を希望した7先については事後のフォローを実施、大学サイドの知財部門をご紹介し、担当教員との共同研究等に向けて現在も連携中であります。

（※1）知的財産や特殊技術、特許、ノウハウ、研究成果等の総称（シーズII種）



九州の元気を
応援しています



「志・情熱企業」

技術力やノウハウ等を持つ特徴ある地元企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日に放映中です。

～中小企業応援テレビ番組～

当番組で紹介した企業は200社を超えました。

当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)からも番組内容をご覧いただけます。

地元企業の海外ビジネスを支援しています

アジアビジネス支援の総合WEBサイト 「アジアへの扉」創設

平成24年4月、当行は地元中堅・中小企業の海外ビジネス支援業務の更なる強化を目的に、グループ会社であるNCBリサーチ&コンサルティングに「国際コンサル室」を開設しました。

また、平成24年9月に同社ホームページ上にアジアビジネス支援の総合WEBサイト「アジアへの扉」を創設し、従来の電話や対面でのコンサルティングに加え、インターネットを通じて海外ビジネスをサポートする体制を強化しました。

アジアビジネス支援の
総合WEBサイト

「アジアへの扉」



ホームページはこちら

<http://www.johoza.co.jp/asia/>

●「アジアへの扉」の仕組み

お客さまは、「アジアへの扉」を通じてアジアビジネスに関する課題解決の相談と情報収集を効率的に行うことができます。

【コンサルティング】

「アジアへの扉」の特徴の一つが、これまでにお客さまの評価が特に高かったコンサルタントや海外進出を支援できる専門業者などを厳選して「サポート企業」覧に

に掲載していることです。これにより、お客さまは海外ビジネスに関する専門家の情報を効果的に収集することができます。

【情報収集】

海外ビジネスに直結するアジア各国の規制や制度の変更など、アジアとの貿易、アジアへの進出や拠点経営を行う上で必要な情報をタイムリーに掲載します。アジア各国の最新のマクロ経済情報やビジネス慣習、九州・山口地域で開催される海外ビジネスに関するセミナー・見本市・商談会情報も掲載しています。

テレビ番組「アジアへの扉」の提供

アジアに活路を見出そうとする地元企業を、グループをあげて応援したいという強い思いから、WEBサイトと共通のタイトルつけた「アジアへの扉」という番組を提供し、アジアビジネスをテーマとした質の高い情報提供に努めています。

テレビ番組「アジアへの扉」では、アジア各国に拠点を置く地元企業のビジネス展開や現地での奮闘の様子をお伝えしています。今から海外に進出しようとする企業にとって、アジアビジネスを知る上で役立つテレビ番組となっています。

「アジアへの扉」

毎週日曜日午後5時25分より
テレビ西日本にて放映中!!



アジアへ進出する
企業を応援
しています

「日中ものづくり商談会 @上海2012」の開催

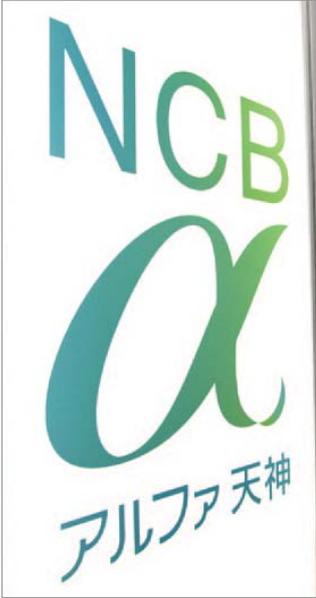
平成24年9月、製造業のお取引先を対象にした「日中ものづくり商談会@上海2012」を、上海に拠点を置く地方銀行等と共同して開催しました。

出展企業数は582社、来場社数5,700社、来場者数は10,360人にも上る一大イベントとなり、中国での製造業界特化型の部品調達・販路拡大のイベントとしては、中国最大規模となりました。



専門スタッフによる ライフプラン サポート

お客様のライフステージから生じるさまざまなお金に関するニーズに対し、お客様の目線に立った最適なサービス提供を行うため、各営業店や専門拠点に専門スタッフを配置しています。



資産運用専門スタッフ

「マネーアドバイザー」

”お客様のこれから“をオーダーメイド

お客様が思い描く”これから“のために、お客様ひとりひとりのライフプランに関するさまざまなニーズにお応えできるよう、お客様ごとにオーダーメイドのプランをご提案し、その実現のお役に立ちたいと考えています。

当行では、各店にマネーアドバイザーやエリアを担当するチーフマネーアドバイザーを配置し、金融資産全般に関する具体的な運用のアドバイスやご提案をしています。

また、お客様の相続、事業承継等のより幅広いご相談には、高度な専門知識を持つプライベートバンカーが、各店の担当者と共にライフプランに合わせたご提案を行います。



天神西通りの「西日本シティ銀行大名支店ビル」に専門拠点が集結

4F NCB ほけんプラザ

将来必要な資金に備える生命保険。ご結婚やご自宅購入などライフイベントに応じて見直しが必要です。専門スタッフがお客様のお悩みや疑問に親身にお応えいたします。

TEL ☎ 0120-144-880

4F NCB alpha 天神

資産運用のご相談にはお客様のライフプランに合わせて専門のスタッフがご提案いたします。無料セミナーも実施しています。

TEL ☎ 092-771-9002

4F 年金相談所

年金の疑問・不安については、年金の専門家(社会保険労務士)がお客様のご質問にわかりやすくお応えいたします。

〈予約専用ダイヤル〉
TEL ☎ 0120-246-537

6F ローン営業室

マイホームやお車のご購入、お子さまの教育資金のご相談については、専門スタッフが適切なプランをご提案いたします。

TEL ☎ 092-734-9190



大名支店ビルは、西通りの西日本シティ銀行が目印、西鉄福岡天神駅より徒歩5分!

「住宅ローン」に「生命保険」、「資産運用」に「年金のお受取」まで、お金についてのさまざまな疑問やお悩みは西日本シティの西通り大名支店ビルで解決。
土日、平日15時以降も営業していますので、お気軽にご来店ください。



「NCBほけんプラザ」

銀行で「ほけん」の話、しませんか？

将来の安心のために、一度はきちんと考えておきたい生命保険。「現在加入中の保険の内容は？」「保障額は十分？」「保険料を見直したい」など、さまざまな疑問やお悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか？

西日本シティ銀行の保険の専門窓口「NCBほけんプラザ」では、お客さまのライフプランに合わせた必要な保障を無料でアドバイスし、複数の保険会社から最適な商品を選んでご提案します。平日はもちろん、土日も営業いたしております。

平成24年8月には、新たに春日店、小倉南店をオープンしました。ぜひ、ご家族でお気軽にお立ち寄りください。

NCBほけんプラザ・天神
福岡市中央区天神2-5-28
(NCBアルファ天神出張所内)
【お問い合わせ】
TEL0120-144-880

NCBほけんプラザ・宗像
宗像市くりえいと1-5-1
(赤間支店内)
【お問い合わせ】
TEL0120-172-178

NCBほけんプラザ・笹丘
福岡市中央区笹丘1-28-74
(田島支店内)
【お問い合わせ】
TEL0120-116-731

NCBほけんプラザ・春日
春日市春日5-17
(春日出張所内)
【お問い合わせ】
TEL0120-242-070

NCBほけんプラザ・小倉南
北九州市小倉南区下曾根新町10-1
(下曾根駅前出張所内)
【お問い合わせ】
TEL0120-242-423

【天神・宗像・笹丘 営業時間】
平日／10:00～19:00 休日／10:00～17:00
※ただし、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は除きます。

【春日・小倉南 営業時間】
平日／9:00～17:00 土・日／10:00～17:00 ※平日は17:00からのご予約も受け付けております。
※ただし、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日、土日以外の祝日、振替休日は除きます。



西日本シティTT証券

お客さまの資産運用ニーズに
きめ細かくお応えします。

西日本シティTT証券は、西日本シティ銀行と東海東京フィナンシャルホールディングスとの共同出資により、平成22年5月に九州地銀として初めて証券子会社を設立しました。

平成24年7月には西日本シティTT証券新宮支店をオープンし、現在、西日本シティ銀行の営業店内の共同店舗を中心とした計7か店で福岡県内二円をカバーできる体制となっております。

従来、銀行ではお取扱いできなかった商品も多数揃えております。これからも、地域のお客さまの近くで、お客さまのイチバンを一緒に考える、地域密着の「証券会社」を目指してまいります。

**西日本シティTT証券
本店営業部**
福岡市博多区
博多駅前三丁目1番1号
(西日本シティ銀行本店営業部内)
【お問い合わせ】
TEL092-707-0377

**西日本シティTT証券
天神支店**
福岡市中央区
天神一丁目12番1号
(旧 東海東京証券 福岡支店)
【お問い合わせ】
TEL092-761-3431

**西日本シティTT証券
北九州支店**
北九州市小倉北区
魚町三丁目5番5号
(西日本シティ銀行北九州営業部内)
小倉サテライトフース
北九州市小倉北区
鏡治町一丁目5番1号
(西日本シティ銀行小倉支店内)
【お問い合わせ】
TEL093-482-1666

**西日本シティTT証券
黒崎支店**
北九州市八幡西区
黒崎一丁目5番17号
(西日本シティ銀行黒崎支店内)
【お問い合わせ】
TEL093-482-1555

**西日本シティTT証券
久留米支店**
久留米市日吉町16-19
(西日本シティ銀行久留米営業部内)
【お問い合わせ】
TEL0942-65-7320

**西日本シティTT証券
飯塚支店**
飯塚市本町6-11
(西日本シティ銀行飯塚支店内)
【お問い合わせ】
TEL0948-43-8173

**西日本シティTT証券
新宮支店**
福岡市東区
和白丘1-22-13
(西日本シティ銀行新宮支店内)
【お問い合わせ】
TEL092-410-2115

土日もご相談いただけます



西日本シティ銀行の「ローン営業室・NCBローンプラザ」は、ローン専門のスタッフが常駐しており、土日曜日もご相談いただける安心・便利な窓口です。ご自宅の新築・購入、返済中の住宅ローンのお借換などの住宅に関する資金など、ローンのことなら何でもお任せください。

休日に時間を気にせず、ローンについてじっくり相談できる「ローン営業室・NCBローンプラザ」は、お客さまのさまざまなライフスタイルにお応えしていきます。

「ローン営業室・NCBローンプラザ」

ショッピングセンターの中にあり、土日・祝日や平日15時以降もご相談いただける「NCBいつでもプラザ」。

ローンはもちろん、預金や資産運用、もしもに備える保険のことなど、幅広くご相談いただけます。また、口座の開設も承ります。

「ちよつと相談してみようかな…」と思つたら、お近くのショッピングセンターにある「NCBいつでもプラザ」まで、お気軽にお立ち寄りください。

「NCBいつでもプラザ」

福岡県下29か所の相談窓口で、土日も皆さまのお越しをお待ちしております

ローン営業室 ローンをご相談いただける専門拠点です。

- | | | |
|----------------------|-------------------------|--------------------------|
| ① ローン天神営業室(大名支店ビル6F) | ⑦ ローン福岡南営業室(老司支店内) | ⑬ ローン北九州西営業室(折尾支店2F) |
| ② ローン福岡営業室(福岡支店内) | ⑧ ローン春日営業室(春日出張所内) | ⑭ ローン小倉南営業室(下曽根駅前出張所内) |
| ③ ローン香椎営業室(千早支店内) | ⑨ ローン粕屋営業室(粕屋支店2F) | ⑮ ローン飯塚営業室(穂波支店内) |
| ④ ローン姪浜営業室(姪浜駅前支店3F) | ⑩ ローン新宮営業室(新宮支店2F) | ⑯ ローン久留米営業室(久留米センター出張所内) |
| ⑤ ローン西新営業室(西新中央支店内) | ⑪ ローン二日市営業室(西鉄二日市駅前支店内) | |
| ⑥ ローン前原営業室(前原支店2F) | ⑫ ローン北九州営業室(小倉支店内) | |

【営業時間等】平日9:00～17:00 土日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日
※ローン福岡営業室…土日・祝日は休業

NCBローンプラザ お客さまのご自宅近くのローン専門相談窓口です。

- ① NCBローンプラザ・美しが丘(美しが丘出張所内) ② NCBローンプラザ・古賀(イオンスーパーセンター古賀店出張所内) ③ NCBローンプラザ・原(原支店内)

【営業時間等】美しが丘 平日9:00～17:00 土・日曜日10:00～17:00 古賀 平日10:00～18:00 土・日曜日10:00～17:00 原 平日9:00～17:00
休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日 ※NCBローンプラザ・原…土日・祝日は休業

NCBいつでもプラザ ショッピングセンターの中にある、土日・祝日、平日15時以降もご相談・お申し込みができる窓口です。

- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------|
| ① 田島支店(ダイエー笹丘店内) | ⑤ 赤間支店(サンリブくりえいと宗像内) | ⑨ ゆめタウン遠賀出張所 |
| ② ショップパズモールマリナタウン出張所 | ⑥ イオン福岡東出張所 | ⑩ ゆめタウン久留米出張所 |
| ③ ゆめタウン筑紫野出張所 | ⑦ イオン戸畑出張所 | ⑪ ゆめタウン大牟田出張所 |
| ④ イオンスーパーセンター古賀店出張所 | ⑧ ゆめタウン行橋出張所 | ⑫ ゆめタウン大川出張所 |

【営業時間等】平日10:00～20:00 土日・祝日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日
※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで

便利にご利用いただけます

**土・日もご相談OK！
ATMからでもお申込みOK！
「NCBキャッシュユエース」**

当行で取扱いしておりますカードローン「NCBキャッシュユエース」は、さまざまな方法でお申込みいただけます。

土・日のご相談窓口である「ローン営業室・NCBローンプラザ」「NCBいつでもプラザ」でのお申込みはもちろん、電話やインターネット、お近くのATMからもお申込みいただけます。

また、郵送でのお申込みも可能となっており、お忙しくご来店いただけないお客さまからも、大変ご好評いただいております。

**おトクがいっぱい！
便利なインターネットバンキングサービス
「NCBダイレクト」**

ご自宅ですっきりご利用いただくことができる西日本シティ銀行のダイレクトバンキングサービス「NCBダイレクト」にお申込みされるお客さまが、どんな増えています。

なかでもパソコンからご利用いただくインターネットバンキングサービスは、同じ西日本シティ銀行の口座へのお振込み手数料、住宅ローン繰上返済金利変更手数料が、すべて無料でご利用いただけます。

だいております。(当行に普通預金口座をお持ちでカードローン契約のない方のみ)

年会費・入会金はもちろん無料、専業主婦やパート・アルバイトの方もお気軽にお申込みいただける「NCBキャッシュユエース」は、急な出費が必要なお役に立てただけ、大変便利なローンです。



さらに定期預金のお預入れ金利、投資信託お申込手数料、外貨定期預金お預入れ時の為替手数料など店頭窓口でのお取引と比べてとっても「おトク」です。

「NCBダイレクト」は、窓口はもちろん、ホームページからお申込みいただくことができますので、ぜひ一度お試しください。

(注)ご利用には事前のお申込みが必要です。個人のお客さまでも事業性のお取引についてのご利用はできません。年会費(基本手数料)は、無料です。



**ATM時間外利用手数料がおトクに
「オールインワンカード」**

「キャッシュカード・クレジットカード・カードローン」の3つの機能が1つになった「オールインワンカード」。

お手持ちのキャッシュカードからお切替えたことで、西日本シティ銀行ATMおよび提携コンビニATM(注1)の時間外利用手数料が、1年間無料となります。2年目以降もNCBポイントサービスのお取引ポイントに応じてATM時間外利用手数料がおトクになります。(ステージ2の場合:平日のみ無料、ステージ3の場合:いつでも無料)

**全国のコンビニでご利用いただけます
「便利なATMサービス」**

当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のセブン銀行ATM(17,330台)、全国のローソンATM(9,508台)、福岡県内の一部のファミリーマートATM(73台)がご利用いただけます。

ご利用時間は、平日は24時間、土日祝日も21時までとなっております。お客さまのさまざまなライフスタイルに対応しています。

各ATMの設置場所・営業時間に

合:いつでも無料)

気になる年会費も、初年度は無料(注2)となっております。2年目以降も携帯電話、もしくは電気料金をオールインワンのクレジットカード機能で決済いただくか、クレジットカードを年間10万円以上ご利用いただければ、無料(注2)となっております。

(注1)提携コンビニATMについては左欄の「便利なATMサービス」をご覧ください。
(注2)ゴールドカードは除きます。



つぎましては、当行ホームページ「店舗ATMナビ」をご参照ください。

(注)ATMの設置場所により、営業時間サービス内容が異なります。
(注)コンビニATMの台数は平成24年9月30日時点の各社が公表している台数です。

セブン銀行ATM

ローソンATM

ファミリーマートATM

安心に向けて取り組んでいます

金融犯罪にご注意ください！

銀行員や警察官を装い「キャッシュカードが偽造されている。」「あなたの口座が犯罪に利用されている。」などとお客さまの不安を煽つて、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取つて出金する犯罪が発生しています。

当行行員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。

したがって、外部からの照会に対して暗証番号を回答したり、キャッシュカードを渡すことのないよう十分ご注意ください。

反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」(平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ)等を踏まえ、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項(「暴力団排除条項」)を導入しています。

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎ 0120-797-919へ 【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日および銀行休業日は除きます)

金融円滑化への取組み

当行は、平成21年12月に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」(中小企業金融円滑化法)の趣旨を踏まえ、中小企業のお客さまの事業活動の円滑な遂行、ならびに住宅ローンご利用のお客さまの生活の安定を目的として、金融円滑化に取り組んでおります。

今後につきましても、当行が持つ情報機能やネットワーク、ソリューション支援専門スタッフ等を活用したお客さまへのコンサルティング機能(経営相談・経営支援・営業支援等)を積極的に発揮することにより、お客さまの主体的な経営改善、事業再生等への取組みをお客さまの立場に立つて真摯にサポートし、金融機関としての社会的責任を果たしてまいります。

金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽にご相談いただけるよう、すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みを承っております。

苦情等のご相談窓口

当行は、お客さまからのご意見や苦情には真摯な姿勢で公正・迅速に対応するとともに、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めてまいります。

当行に対するご意見・苦情は、営業店または次のお問い合わせ窓口までお申し出ください。

西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ 0120-162-105 【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日および銀行休業日は除きます)

または

FAX092-461-1916(24時間)

西日本シティ銀行の本支店窓口

金融ADR制度について

平成22年10月1日より金融ADR制度が開始されました。

金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続(※)のことで、お客さまが、金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合に活用いただける制度です。

国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関が、お客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。

当行は、「一般社団法人全国銀行協会」と「一般社団法人信託協会」との間で、紛争解決等業務に関する「手続実施基本契約」を締結しています。

(※)裁判外紛争解決手続(Alternative Dispute Resolution)とは、身の回りで起こるトラブルを、裁判ではなく中立・公正な第三者に関わってもらいながら柔軟な解決を図る手続です。

全国銀行協会 相談室
TEL0570-017109

または
TEL03-5252-3772
【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日および銀行休業日は除きます)

信託協会 信託相談所
☎ 0120-817335

または
TEL03-3241-7335
【受付時間】月～金曜日9:00～17:15
(祝日および銀行休業日は除きます)

新しい店舗に「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」 「エコ設備」を積極的に取り入れています



■若松支店(平成24年4月新築建替)

当行の新しい店舗は、全てのお客さまにご利用いただきやすい「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」(自動ドア、段差のない出入口、点字ブロック、多目的トイレ、エレベーター、座ったまま利用できる記帳台など)や、地球環境に配慮した「エコ設備」(太陽光発電システム、LED照明、エコガラス、雨水再利用など)を積極的に取り入れています。

今後も地域の皆様に親しまれる店舗づくりに取り組んでまいります。

【新店舗の主な機能】

エコ設備				ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備					
太陽光発電	LED照明	エコガラス	雨水再利用	自動ドア	段差のない出入口	点字ブロック	多目的トイレ	エレベーター	座ったまま利用できる記帳台

当日は、地元の方々の感謝の思いをこめて、店舗周辺や地区の商店街、公園などを清掃いたしました。



地域の環境美化に取り組んでいます

また、8月1日には天神支店女性行員が、「WELL OVE天神協議会」主催の「天神地区打ち水大作戦2012」に浴衣姿で参加し、打ち水の「ひんやり効果」を体感しました。



エコを考えたイベントに参加しています

平成24年8月8日、「博多まちづくり推進協議会」と共同で、「博多ひんやり！打ち水」と題して、博多駅周辺で打ち水を実施し環境啓発PRを行いました。

視覚障がいをお持ちのお客さまに配慮した取組み

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心してお取引いただけるよう、以下のような取組みを行っております。



※視覚障がい者対応ATM
原則各ATMコーナーの左端に設置しています

1

視覚障がい者対応(受話器型操作機付)ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと併せ713台となりました(平成24年9月末現在)。今後も順次増設を行い、一層の利便性向上に努めてまいります。

2

点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口へ直接又は電話でのお申込みにより、左記の取引明細等を点字で作成し、「自宅宛」に送付するサービスを実施しています。

※対象取引：普通預金・貯蓄預金取引明細の通知(1カ月単位で送付)定期預金満期の通知(満期日到来の都度送付)

3

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。



明日を担う子どもたちのために 「お金のがっこう」開校

平成24年8月、「第6回キッズ・サマー・キャンプ～お金のがっこう～」を小学5・6年生を対象に行い、貸金庫やコールセンターなどの施設見学や窓口体験、また、お金や銀行の役割についてのクイズで、楽しく学習してもらいました。

お金の大切さや仕事を通じた社会とのつながりを知ってもらうことで、子どもたちの夢の実現につながることを願っています。



音楽鑑賞支援事業 ミュージカル親子ご招待を実施

平成24年8月、次世代を担う子どもたちに、音楽芸術鑑賞を通じて豊かな感受性を高めていただくこと、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」に親子100組をご招待いたしました。「家族愛」「平和」をテーマにした不朽の名作に、当日来場された皆さまは、親子で感動を分かち合われました。

《地域のみなさまの“学び”をお手伝い》



西南学院大学 「実践仕事塾・金融スペシャリスト育成講座」の開催

平成24年10月から11月にかけて、“地域との共栄 知的貢献”の一環として、西南学院大学との産学連携協定に基づき、同大学の学生を対象に開講されている「実践仕事塾・金融スペシャリスト育成講座」に、当行のさまざまな分野で活躍する役職員を講師として派遣し、学生に実践的な金融知識にかかる寺子屋形式の講義を行っています。

今年で5年目となりますが、24名の受講生に対して全5回コース、6名の講師が担当してまいります。



アジア映画鑑賞会中学生招待

平成24年9月、当行と関連財団である西日本国際財団の共催により「アジア映画中学生鑑賞会」を開催しました。アジアとの架け橋を担う次世代の中学生たちに、アジアの国で制作された教育的・文化的価値の高い映画作品の鑑賞を通して、アジアへの理解を深めてもらうことを目的に、家族の絆をテーマにしたタイ映画「恋するリトル・コメディアン」を上映しました。

アジアとの絆を深め、
実りある国際交流を
支援しています

公益財団法人 西日本国際財団

アジア諸国を中心とした国際交流を推進することにより、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善の推進に寄与することを目的として、さまざまな事業活動を行っています。

また、九州・沖縄・山口地域を対象に、草の根活動を通じてアジアの発展及びアジアとの国際交流に貢献した団体・個人を表彰する「アジア貢献賞」、国際相互理解と国際友好親善の促進に貢献している小学校・中学校及び地域の子ども団体を表彰する「アジアKids大賞」を設け、実りある国際交流を支援しています。



皆さまに愛され続け
お昼休みのミニコンサートは
300回を超えました

公益財団法人 福岡文化財団

毎月1回、本店エントランスホールで開催する「プロムナードコンサート」。26年間皆さまに愛され続け、平成24年11月で323回を迎えました。

また、福岡市内の小学校で本物のクラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンスを披露する「ふれあいライブ」は、子どもたちに大変喜ばれています。クラシックをもっと身近に、そして子どもたちにとって楽しい時間になるように、ひとつひとつのライブをていねいに企画しています。他にも、地元のまちづくりや文化についてシンポジウム「博多ZEN塾」を開催、美術、音楽、演劇、芸術支援等を通して、文化の向上を図り、より豊かな地域社会づくりに貢献する活動を行っています。



地域の優れた経営者を
表彰しています

公益財団法人 経営者顕彰財団

九州・山口地域において、地域経済の発展や産業の開発に優れた実績をあげられた中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。昭和47年の財団設立以来、表彰は39回を数え、受賞者は149名となりました。受賞者が経営する企業のうち、上場または店頭公開を果たされた企業も多数あります。「経営者賞」が経営者の方々の励みとなり、地域経済の発展に少しでも寄与できれば幸いです。



東日本大震災
緊急募金の取扱い

当行では、全店の窓口で「西日本シティ銀行ユニセフ東日本大震災緊急募金」の受付を平成23年3月から開始し、平成24年10月までにお振込みいただいた募金は、70,719,753円となりました。

多くの皆さまからの善意をいただき、本当にありがとうございました。引き続き募金を受付けておりますので、協力をよろしくお願いします。
(寄付先：公益財団法人日本ユニセフ協会)



ユニセフの支援活動状況につきましては、日本ユニセフ協会のホームページに掲載されています。

■ホームページアドレス
<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/2011.htm>

コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業績・財務データ

平成24年9月期

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



コタエがある。Contents

店舗網・海外ネットワークのご案内	1
平成24年9月期業績ハイライト	2
株式の状況	5
平成24年9月期中間財務諸表	6

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	206か店
従業員数	3,842名
総資産	7兆2,945億円
預金・譲渡性預金残高	6兆6,090億円
貸出金残高	5兆2,192億円 (平成24年9月30日現在)

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成24年12月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111(代表) ホームページ ▼<http://www.ncbank.co.jp>

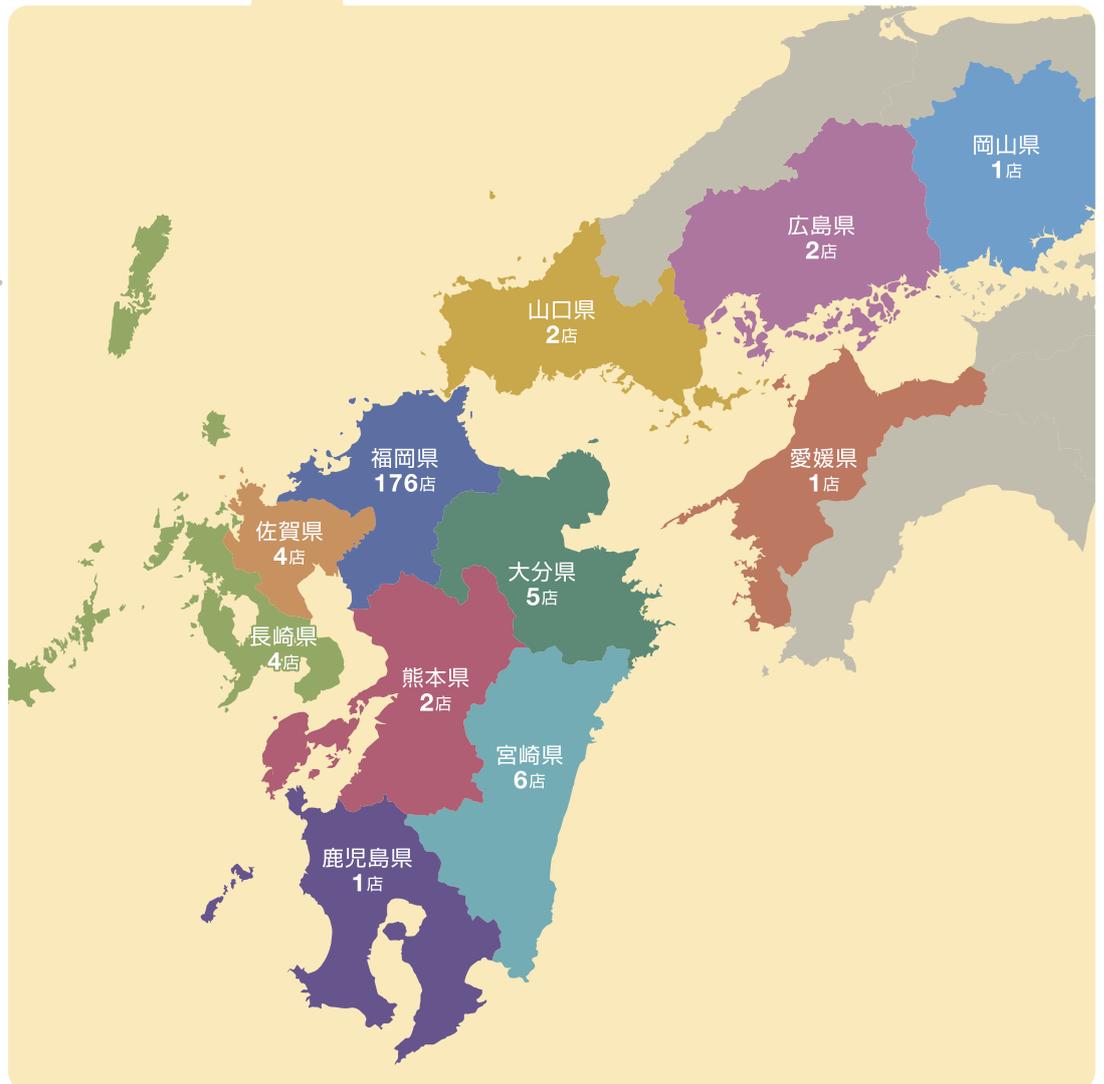


●店舗数	206か店
●海外駐在員事務所	3か所

ATM / 1,391台
 店舗内931台
 店舗外460台
 ※コンビニATM除く

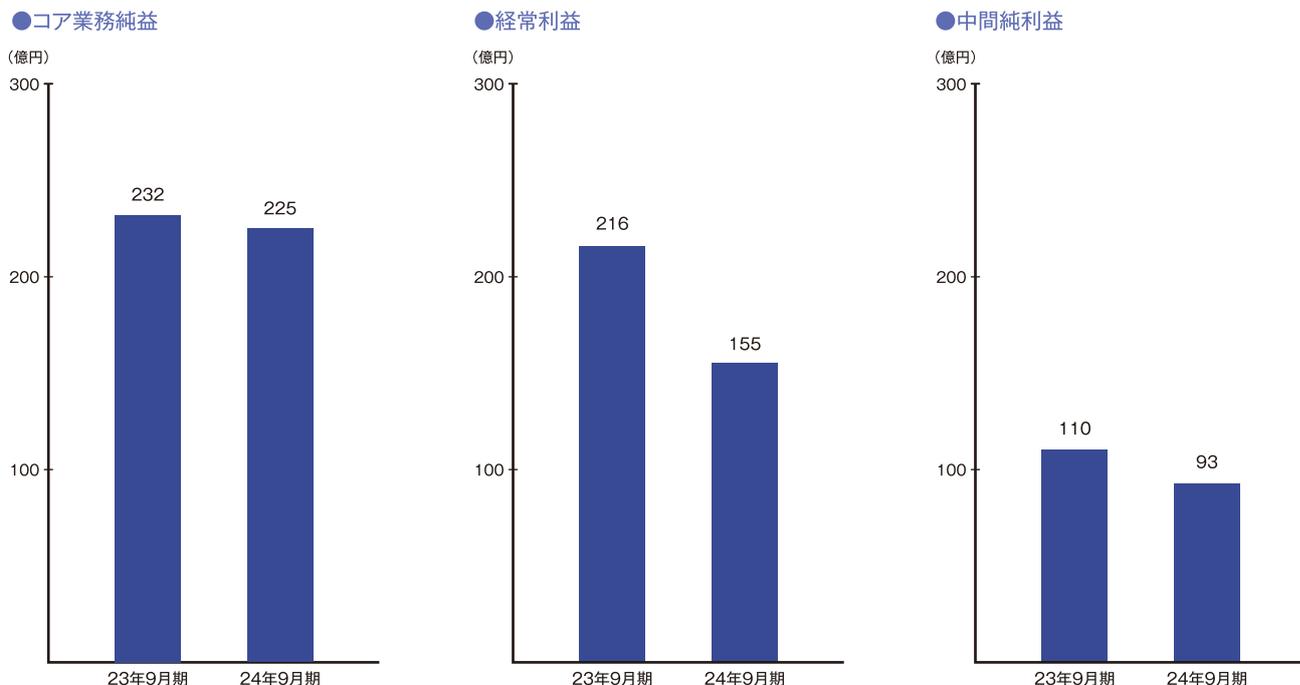
提携金融機関

- りそなブルダニア銀行 (インドネシア) 平成8年提携
- 中国銀行(中国) 平成13年提携
- 国際協力銀行(日本) 平成13年提携
- 新韓銀行(韓国) 平成19年提携
- OCB(ベトナム) 平成20年提携
- BNP パリバ(ベトナム) 平成20年提携
- バンコック銀行(タイ) 平成21年提携



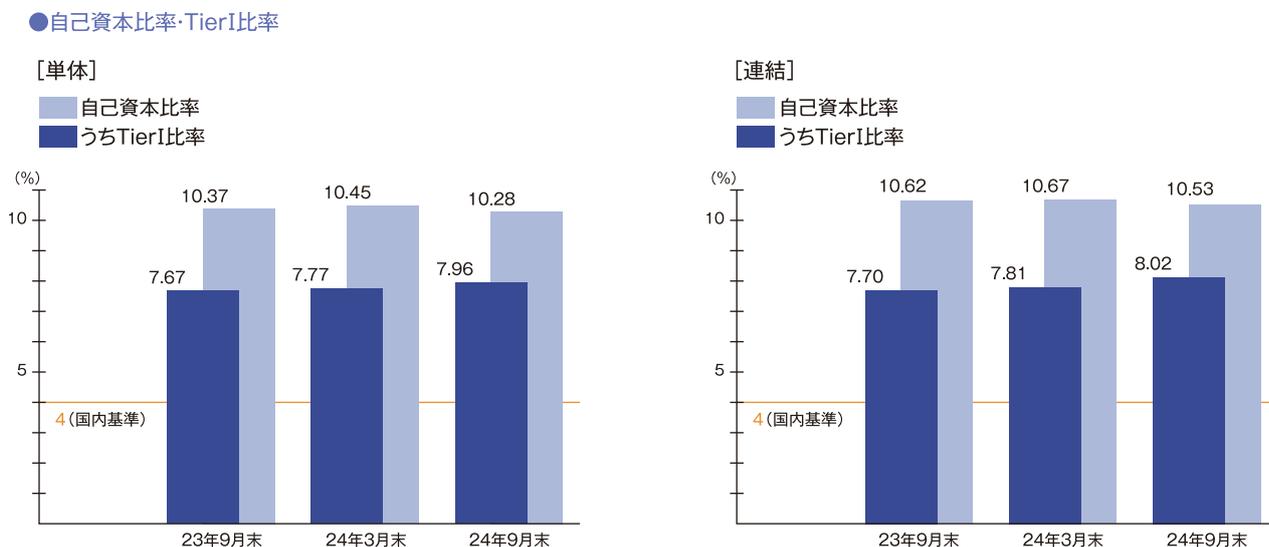
損益の状況(単体)

貸出金等の運用利回りの低下により資金利益が減少しましたが、経費の削減等により、平成24年9月期のコア業務純益は225億円となりました。また、保有株式の減損処理費用の増加等により、経常利益は155億円となり、中間純利益は、93億円となりました。



自己資本比率の状況

平成24年9月末の自己資本比率は、単体で10.28%、連結で10.53%となりました。また、中核的自己資本であるTierI比率は、単体で7.96%、連結で8.02%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。



不良債権の状況(単体)

平成24年9月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成24年3月末比6億円増加し1,681億円、開示債権比率は、3.19%となりました。

●不良債権比率

● 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ● 危険債権 ● 要管理債権 ● 金融再生法開示債権比率(%)



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本 (資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

TierI比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ~金融再生法による開示債権の定義~

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

要管理債権

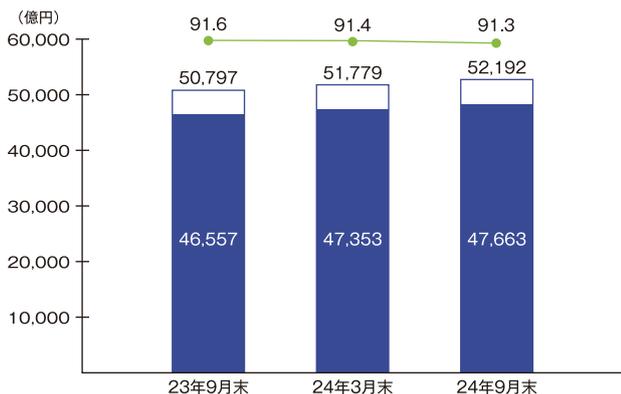
3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

貸出金の状況

平成24年9月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が91.3%、また、中小企業※及び個人への貸出金の比率が76.9%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心としたさまざまな資金ニーズにお応えしております。

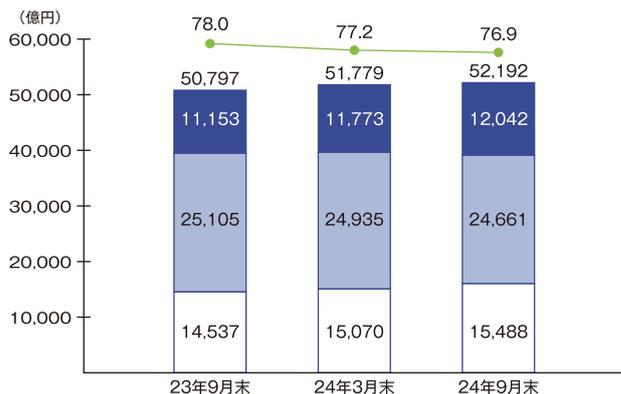
●貸出金と地域の内訳

□ 総貸出金残高 ■ 九州域内貸出金残高
● 九州域内貸出金比率(%)



●貸出金と対象先の内訳

■ 大・中堅企業、地方公共団体向け貸出金残高 □ 個人向け貸出金残高
■ 中小企業※向け貸出金残高 ● 中小企業※及び個人貸出金比率(%)



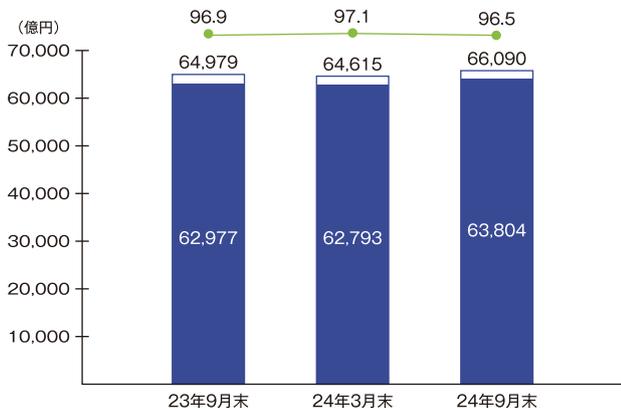
※中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

預金・預り資産の状況

平成24年9月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.5%、預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.0%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

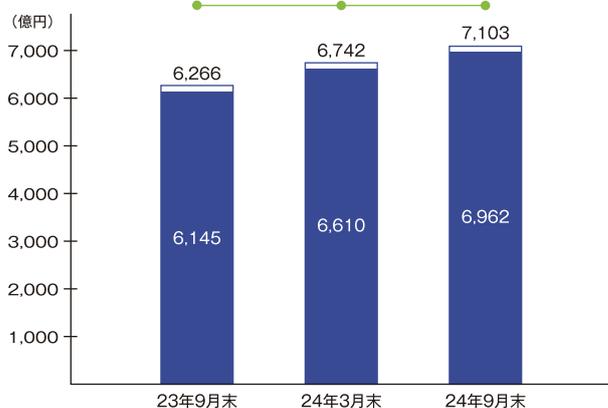
●預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳

□ 総預金残高 ■ 九州域内預金残高 ● 九州域内預金比率(%)



●預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)と地域の内訳

□ 預り資産残高※ ■ 九州域内預り資産残高※ ● 九州域内預り資産比率(%)



※預り資産残高=投資信託残高+保険商品販売累計額(個人年金保険販売累計額+一時払終身保険販売累計額)

株式の状況

発行可能株式総数 1,500,000,000株

平成24年9月30日の発行済株式の総数 796,732,552株

平成24年9月30日の株主数 21,630名

大株主

(平成24年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	100,096	12.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	46,402	5.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,604	3.96
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	17,748	2.22
株式会社みずほコーポレート銀行	11,507	1.44
東京海上日動火災保険株式会社	11,280	1.41
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37
西日本シティ銀行従業員持株会	10,825	1.35

(注)1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金の
お支払いについて**

期末配当金
3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

中間配当金
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1)事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092)741-0284

(2)お問合せ先 〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843(フリーダイヤル)
(※平成25年1月よりお問合せ先の住所が変更となります。)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部

(ご注意)株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	285,647	預金	6,574,764
コールローン及び買入手形	324	譲渡性預金	232,431
買入金銭債権	26,532	コールマネー及び売渡手形	68,920
特定取引資産	1,378	債券貸借取引受入担保金	40,419
金銭の信託	2,999	借入金	57,567
有価証券	1,588,521	外国為替	64
貸出金	5,437,096	社債	73,300
外国為替	4,488	その他負債	51,243
その他資産	45,033	退職給付引当金	10,788
有形固定資産	118,195	役員退職慰労引当金	135
無形固定資産	3,346	睡眠預金払戻損失引当金	2,287
繰延税金資産	39,745	偶発損失引当金	2,703
支払承諾見返	50,143	特別法上の引当金	0
貸倒引当金	△38,600	再評価に係る繰延税金負債	19,300
投資損失引当金	△617	支払承諾	50,143
		負債の部合計	7,184,069
		純資産の部	
		資本金	85,745
		資本剰余金	90,301
		利益剰余金	136,396
		自己株式	△668
		(株主資本合計)	(311,774)
		その他有価証券評価差額金	9,524
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	30,318
		(その他の包括利益累計額合計)	(39,842)
		少数株主持分	28,546
		純資産の部合計	380,163
資産の部合計	7,564,232	負債及び純資産の部合計	7,564,232

中間連結損益計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	80,863
資金運用収益	58,518
(うち貸出金利息)	(48,583)
(うち有価証券利息配当金)	(9,455)
役務取引等収益	14,942
特定取引収益	91
その他業務収益	4,817
その他経常収益	2,492
経常費用	63,156
資金調達費用	4,148
(うち預金利息)	(2,509)
役務取引等費用	4,728
その他業務費用	146
営業経費	41,079
その他経常費用	13,053
経常利益	17,706
特別利益	47
特別損失	1,026
税金等調整前中間純利益	16,727
法人税、住民税及び事業税	2,082
法人税等調整額	3,961
法人税等合計	6,044
少数株主損益調整前中間純利益	10,683
少数株主利益	976
中間純利益	9,707

中間連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日) (単位:百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	85,745
当中間期変動額	—
当中間期末残高	85,745
資本剰余金	
当期首残高	90,301
当中間期変動額	—
当中間期末残高	90,301
利益剰余金	
当期首残高	128,247
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
中間純利益	9,707
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	432
当中間期末残高	136,396
自己株式	
当期首残高	△668
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	6
当中間期末残高	△0
株主資本合計	303,625
当期首残高	303,625
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
中間純利益	9,707
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	2
土地再評価差額金の取崩	432
当中間期末残高	311,774
その他の包括利益累計額	
当期首残高	11,032
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,507
当中間期末残高	9,524
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	△0
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△0
当中間期末残高	△0
土地再評価差額金	
当期首残高	30,318
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△432
当中間期末残高	30,318
その他の包括利益累計額合計	9,524
当期首残高	41,783
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,940
当中間期末残高	39,842
少数株主持分	
当期首残高	28,132
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	413
当中間期末残高	28,546
純資産合計	
当期首残高	373,541
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
中間純利益	9,707
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	2
土地再評価差額金の取崩	432
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,527
当中間期末残高	380,163

中間財務諸表

中間貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	274,403	預金	6,382,128
コールローン	324	譲渡性預金	226,962
特定取引資産	1,375	コールマネー	64,020
金銭の信託	2,999	債券貸借取引受入担保金	40,419
有価証券	1,594,057	借入金	69,157
貸出金	5,219,260	外国為替	64
外国為替	4,488	社債	73,300
その他資産	42,245	その他負債	29,378
有形固定資産	114,130	退職給付引当金	9,815
無形固定資産	2,905	睡眠預金払戻損失引当金	2,255
繰延税金資産	36,732	偶発損失引当金	2,660
支払承諾見返	30,773	再評価に係る繰延税金負債	18,859
貸倒引当金	△28,685	支払承諾	30,773
投資損失引当金	△502		
		負債の部合計	6,949,793
		純資産の部	
		資本金	85,745
		資本剰余金	85,684
		資本準備金	85,684
		利益剰余金	134,641
		利益準備金	61
		その他利益剰余金	134,579
		圧縮積立金	3
		別途積立金	122,800
		繰越利益剰余金	11,776
		自己株式	△668
		(株主資本合計)	(305,402)
		その他有価証券評価差額金	8,994
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	30,318
		(評価・換算差額等合計)	(39,312)
		純資産の部合計	344,714
資産の部合計	7,294,508	負債及び純資産の部合計	7,294,508

中間損益計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	74,052
資金運用収益	55,779
(うち貸出金利息)	(45,831)
(うち有価証券利息配当金)	(9,847)
役務取引等収益	11,811
特定取引収益	14
その他業務収益	4,551
その他経常収益	1,895
経常費用	58,493
資金調達費用	4,388
(うち預金利息)	(2,444)
役務取引等費用	5,750
その他業務費用	146
営業経費	36,072
その他経常費用	12,135
経常利益	15,559
特別利益	26
特別損失	994
税引前中間純利益	14,591
法人税、住民税及び事業税	1,119
法人税等調整額	4,142
法人税等合計	5,261
中間純利益	9,330

中間株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日) (単位:百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	85,745
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	85,684
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	85,684
資本剰余金合計	
当期首残高	85,684
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	61
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
当期首残高	3
当中間期変動額	—
圧縮積立金の取崩	△0
当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	3
別途積立金	
当期首残高	109,700
当中間期変動額	—
別途積立金の積立	13,100
当中間期変動額合計	13,100
当中間期末残高	122,800
繰越利益剰余金	
当期首残高	17,104
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
圧縮積立金の取崩	0
別途積立金の積立	△13,100
中間純利益	9,330
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	432
当中間期変動額合計	△5,328
当中間期末残高	11,776
利益剰余金合計	
当期首残高	126,869
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の積立	—
中間純利益	9,330
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	432
当中間期変動額合計	7,771
当中間期末残高	134,641
自己株式	
当期首残高	△668
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	6
当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	△668
株主資本合計	
当期首残高	297,630
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
中間純利益	9,330
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	2
土地再評価差額金の取崩	432
当中間期変動額合計	7,771
当中間期末残高	305,402
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	10,517
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,523
当中間期変動額合計	△1,523
当中間期末残高	8,994
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	△0
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△0
当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	△0
土地再評価差額金	
当期首残高	30,751
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△432
当中間期変動額合計	△432
当中間期末残高	30,318
評価・換算差額等合計	
当期首残高	41,269
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,956
当中間期変動額合計	△1,956
当中間期末残高	39,312
純資産合計	
当期首残高	338,900
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,987
中間純利益	9,330
自己株式の取得	△6
自己株式の処分	2
土地再評価差額金の取崩	432
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,956
当中間期変動額合計	5,814
当中間期末残高	344,714

次頁「コロロがある」編はオレンジの表紙切りでご覧ください